



栃の木からの手紙

2018年 7月号



商工会議所に足を運ぶ事は列車の券を買う事以外に殆ど無い。しかし6月は2回、美幌商工会議所でのセミナーに参加する機会を得た。ひとつは、美幌町観光まちづくり協議会主催の「農村ツーリズム研修会」。近江正隆氏による十勝での農家民泊の取組。都会の高校生が1軒の農家に4, 5人で一晩泊まるのですが、もちろん農作業も体験する。一生の内のたった一日の体験。この体験の大切さを篤く伝えてくれました。何と、町議さん達も参加されていたのです。

この機会に、6月23日の体験会の紹介をして2名の方の参加を許され、自分の行う体験活動の意義を感じ取りました。

7 月 文 月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

7日： 小暑： みどりの村 天の川観望会 20時から

13日： 新月 旧 6月 1日

22日： 自然農法畑で野挿し（一輪挿し） 13時半から

23日： 大暑

28日： 満月 旧 6月 16日

早朝月没帯月食（月食途中で沈んで行く）



6月23日（土曜日）、一般農法・自然農法の芋の観察会を行いました。雨がちの日は続く中、天気にも恵まれ一般の方2名の参加。一般の芋の根基の土の中の様子を自分で土を崩しながら確認して貰いました。また、自然農法の畑の中を歩いて移動しながら一般の小麦の花を始めて見て貰ったり、自然の野ら芋を掘って貰いました。一般の芋ではまだ芋が付いていないのに、野ら芋では小さな芋が付いていました。最後に、強風のお陰で今日発生していた小麦の穂波を帰り道の路上から眺める事が出来ました。参加者の中から自然と出た「さとうきび畑」…。そう、今日は「沖縄慰霊の日」なのです。

日頃見る事の無い土の中の現実を観て、目の前の現実から遠い日の現実に思いを馳せる。参加者は2名でしたが有意義な観察会でした。そして、8月上旬に行われる「美幌町こどもキャンプ」での「芋掘り体験」をオホーツク高橋農場で実施する事が決まりました。



7月22日（日曜日） 13時30分～15時頃

「自然農法畑 お芋で花見体験 ～ 野草で 挿し花 ～」

既に6月28日付けの美幌新聞に掲載され、小学生の親子40名程に直接案内をし、お花の或関係者にも訪問して案内をお渡ししました。参加者の有無に係らず私の出来る事を通じて体験をする機会を多くの人達に提供する事を大切にして行きたいと思ひます。

